

経営比較分析表（令和5年度決算）

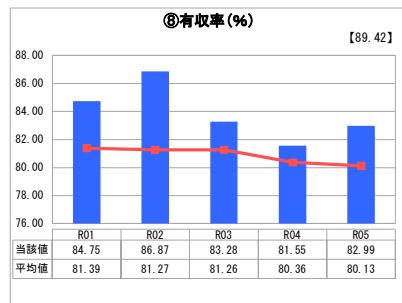
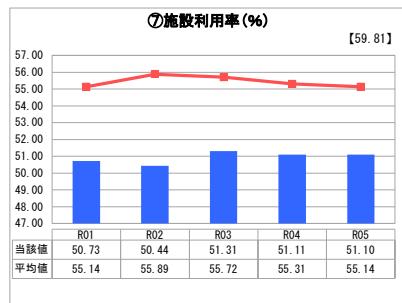
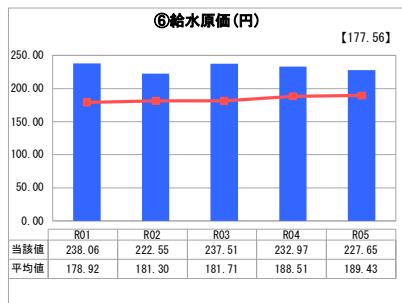
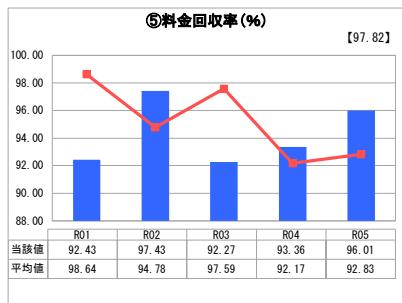
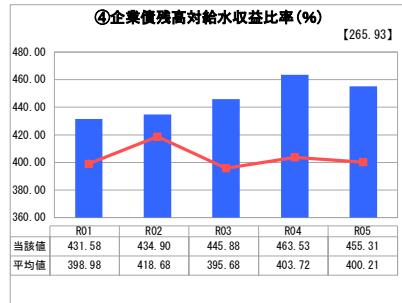
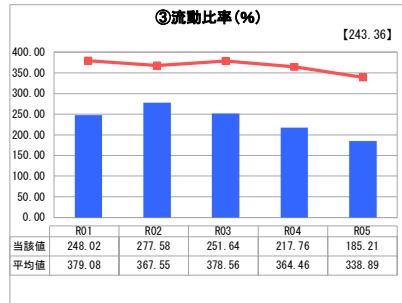
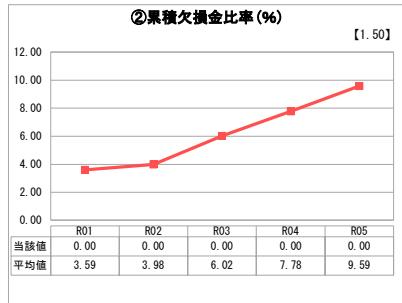
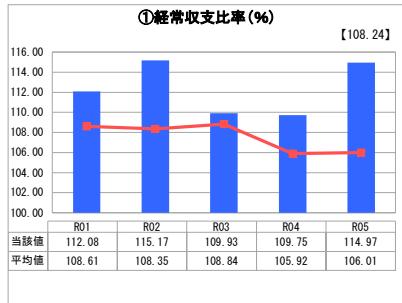
富山県 小矢部市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.95	64.45	3,718	

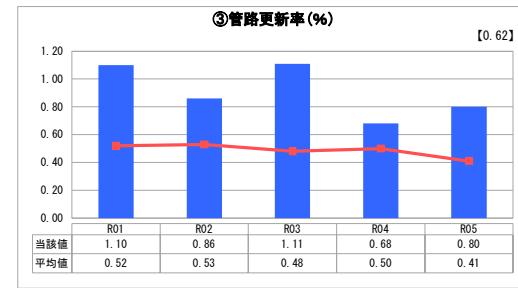
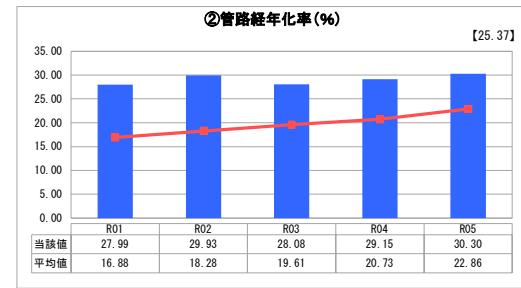
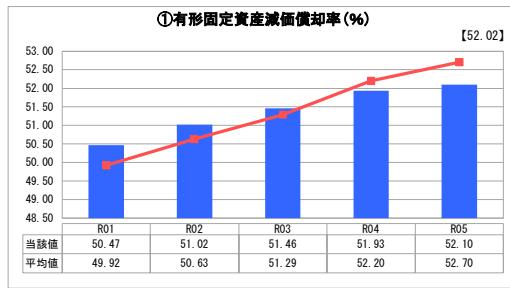
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,356	127.03	223.22
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,170	84.15	215.92

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



全体総括

- ・経常収支比率、流動比率は100%を超え、累積欠損金が発生していない状況であるものの、料金回収率は100%を下回っており、収入不足を基準外線入金で補填している状況である。人口減少や節水機器の普及による給水収益が減少、施設の更新需要が増加する中、給水原価縮小に努めているところであるが、令和3年度に策定した経営戦略に基づく収支計画により、今後もより一層の経営の安定化及び健全化を図っていく必要がある。
- ・有形固定資産減価償却率、管路経年化率がともに上昇しており、耐震化と併せた計画的な施設更新が必要的であるが、企業債残高対給水収益比率が高いことから、企業債借入額の抑制に努めたり、事業投資に対する料金水準が適正なものであるかを分析したりする必要がある。また、施設更新に際しては、施設規模の見直しが必要である。